



TCA

— NEWS —

Vol.11 新春号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930 富山市丸の内1丁目4番50号
富山市国際交流センター(市図書館1階)内
TEL (0764) 42-1109 FAX (0764) 42-3807
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代

あけまして

おめでとう

ございます



市の草花「あざみ」
「薊」
「Thistle」
「cardo」



市の木「けやき」
「樺」
「Zelkova」
「ulmo」

市の花木「つばき」
「山茶」
「Camellia」
「Cane'llia」

写真説明は、Japanese, Chinese, English, Portuguese で示してあります

ボランティアで育てよう 富山市民国際交流協会

안녕하세요 こんにちは 안녕하세요 안녕하세요

東アジア国際交流フェスティバル'95

한국 의 주간 韓国ウィーク 한국 의 주간

1995年10月28日(土)13:20 タワー111・スカイホール

1995年10月29日(日)13:00 CiCビル5階多目的ホール

東アジア国際交流フェスティバルも2回目を迎えることができました。

昨年は ～東アジアの交流をめざして～ を手探りで夢中に進めましたが大きな成果を収めることができました。

今年は韓国光復節50周年・日韓国交30周年の年であることから、韓国をたくさん聞いたり、韓国伝統芸能を観たりと韓国を大いに知ろうと、フェスティバルを開催しました。

基調講演『日本と韓国の21世紀』

講師 丁 海龍 新亜研究所所長

20世紀が日韓関係において有史以来最も不幸な時期であった。またその修復のために、“陣痛”を体感した時代であった。

21世紀はどうすればいいのか。答えは皆様良くご存じの通りだと思う。「友好親善関係の再構築」です。昔から日韓関係が悪かった訳ではない。最も仲のよい最も関係の深い、そして互惠、平等の立場で与え、与えられ、仲良くやってきた年月は不幸な時期より数十倍も長い訳です。好むと好まざるとにかかわらず日韓関係は友好関係を再構築しなくてはならない宿命に在る。今からでも遅くないからやっぱり、草の根運動で多くの人々が交流し合い、そして過去の事についてきちんと整理をする、そのための環境整備は特に韓国においては、やっていかなければならない。いわゆる見学・研修をする。見て学べるところをたくさん整理をしてやらなきゃならない。そして事実は事実として、認識をさせながら将来に向けてどうするかという夢を与える工夫を今の世代の人々が努力をしなきゃならない。

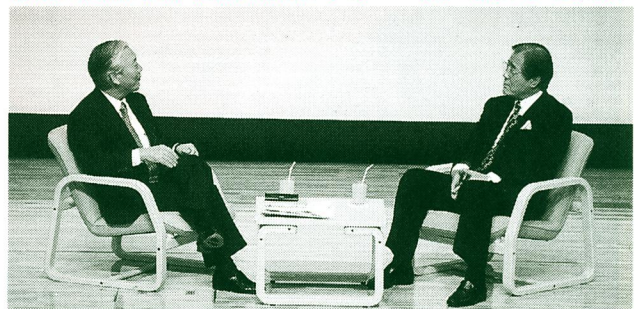


理解の基はどうしてもやっぱり文化と言うような側面から入った方がやりやすい。このような場所では対話をし、お付き合いをし、そして協力し合う。こういう草の根運動を進めていかなきゃならないと思う。(講演要旨)

『韓国を聞きたい』

話す人 丁 海龍 基調講演講師

聞く人 小川 弘 富山市民国際交流協会監事



なぜ、韓国の人は日本が最も嫌いな国と思っているのか。この点をときほぐすには、どうしても民間の交流による相互理解が必要である。

日本の企業が2000以上も韓国に進出したが、うまくいかなかったと一般にいられている。韓国と日本の企業が一緒になって中国や他のアジア地域にも進出している。

もっと良い例に目を向ける必要がある。韓国側も積極的に日本文化を受け入れ、日本側も一層の努力をすべきである。相方で受け入れの環境整備を民間の手で一步一步進めていくのに国際交流協会や親善協会の活動の充実が必要である。(対談要旨)

ステージ&交流パーティ

パンソリとは

パンソリは、韓国民衆に愛され、民衆の中で育て上げられた芸能です。

一人の歌い手が、一人の鼓手に合わせて、ある時は歌い、ある時は語ることによって一つの物語を演じられるものです。中でも「春香歌」は、小説や演劇や映画などにも取り上げられて、最も親しまれ、愛されて来ました。



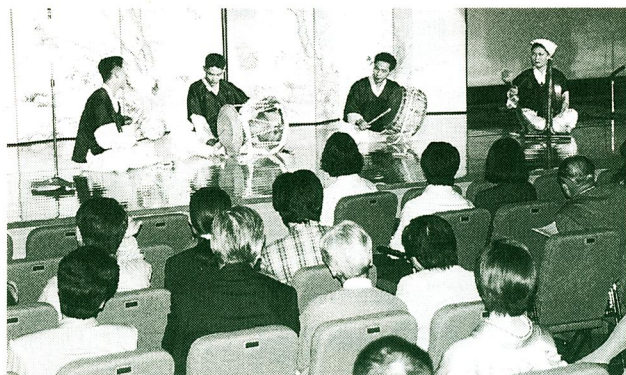
「豊年歌」 農村の秋の実り豊かな様子を歌う民謡です



「アリランメドレー」 アーリラン アーリランと歌う
団長 曹小女様は重要無形文化財でいらっしゃいます



パンソリ「春香歌」 身分を越えた一途でひたむきな二人の悲しくも美しい真実(まこと)の愛の物語



「サムルノリ」 ケンガリ、チャンゴ、太鼓、どらの四種の打楽器を座って演奏します



パーティで大正琴を奏でる地域交流委員会のみなさん

東アジア国際交流フェスティバル 実行委員会に参加して

実行委員 塚本美津子

東アジア国際交流フェスティバル'95 の実行委員会に参加させていただきました。

昨年は、“まなびピアとやま'94”の協賛事業ということもあり、各国の代表の方々のフォーラムに引き続いてパーティでは各国の料理あり、歌あり、踊りありの熱気あふれる楽しいパーティでした。

今年は“韓国ウィーク”と題して開催されました。基調講演やパンソリのステージに、ホールは人と感動で埋めつくされ「スバラシイ！」という声をあちこちで聞きました。

また、韓国からのお客様と雪の立山へ行ったり、ショッピングに付き合ったりと…出会いと交流をさせていただき、近くて近い国を身をもって感じる事が出来ました。

この熱い思いを持ち続けて、これからも人と人の結び付きを大切に友好の輪を広げていきたいと思っています。

こんにちは...

海外研修 1995 9.23~9.29

姉妹・友好都市

富山市民国際交流協会秦皇島市友好訪問

団長 窪田 菊次郎

富山市民国際交流協会の平成7年度海外研修は昭和56年5月に友好都市締結して以来、初めての市民レベルの交流の先駆けとして、中国秦皇島市を訪問いたしました。

一行26名は9月23日より1週間の予定で、中国の悠久の歴史と広大な自然にふれる楽しみと親善と交流を深めてくることを目的に出発いたしました。

今回の訪問では、

①秦皇島市表敬訪問

歓迎宴、答礼宴での交流交歓会

②日本語を学ぶ学生に対する奨学金支給協定書の調印式

日本語を学ぶ学生を支援することによって富山市と秦皇島市、日本と中国の架け橋となる人材の育成

③教育・文化・産業経済・医療福祉等の交流

第一病院、第一中学校、経済技術開発区そして、富山市内企業との合併会社の訪問、交流行事はたくさんありましたが、行く先々で熱烈歓迎を受けて、訪問の目的を無事に成功し終えることができました。

また、天下第一関、老龍頭、故宮、天安門、天安門広場等の歴史や観光も楽しみ、北京-秦皇島市間の長い汽車での移動は、広大な自然を感じたり、日常生活を少し垣間見たりと旅心もいっぱいでした。

出発に先だち、「明るく、楽しく、思い出に残る旅」と申し合わせ、団員一同、よく笑い、よく食べ、よく語り、よく唄いと、初対面が出会い、ふれ合い、多くの友人もできました。

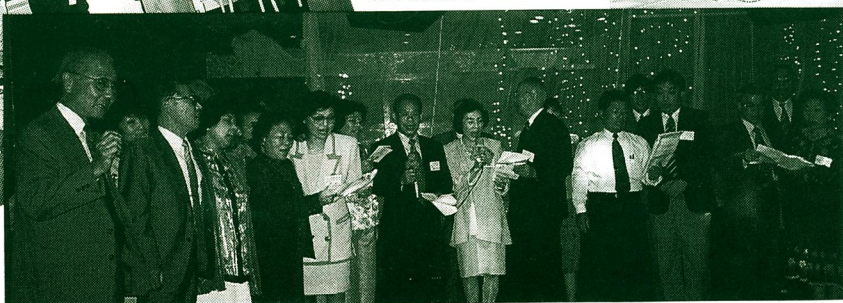


▲熱烈歓迎されて
記念撮影をバチリ！

富山市民国際交流協、初の訪中団 日本語学ぶ学生に奨学金 友好都市 秦皇島市と調印へ



▲表敬訪問



▲奨学金至急協定書の
調印式

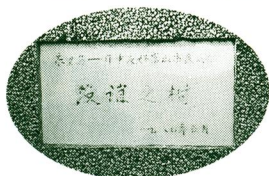
▲何度もレッスンをした「草原情歌」の本番です。交流交歓会

往来 — 秦皇島市 —

いらっしやい...



▲秦皇島駅前



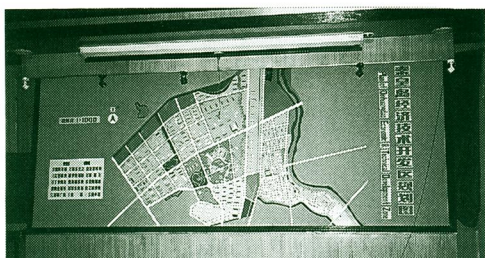
▲1980年 5月
友好都市締結記念碑



◀市内中心地で
時を知らせて...
富山市寄贈の時計台



▲第一中学校庭の
友誼の記念樹



▲経済技術開発区

国慶節(10月1日) ▶
の準備でにぎわう
天安門広場で...



◀最近話題の多い
上海を観光

医学研修に 1995.11~12



富山市民病院で研修する秦皇島市第一病院副院長の呂文臣先生(胸部外科)と金英藍先生(循環器科)

実務協議団来富 1995.11.26~11.30



◀富山市
表敬訪問

歓迎宴
市民プラザ▶



秦皇島市人民政府外事弁公室主任、李沢軍さん一行3名は、市内施設、企業を視察研修し、また協会会員らと交流交歓会で、友好を深めました。

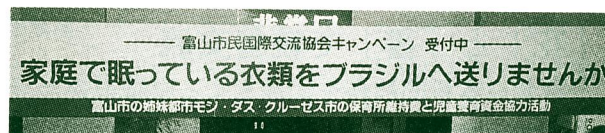
こんにちわ...

— モジ・ダス・クルーズス市 —

協力しましょう...



富山県南米親善訪問団に参加した富山市関係の団員達はその日程の中でモジ・ダス・クルーズス市を訪問して親善を深めました。(11月1日から11月5日まで)



当協会では、富山市姉妹都市のブラジルのモジ・ダス・クルーズス市へ家庭で眠っている衣類を集め、送るキャンペーンを展開します。

— 多くの方々のご協力をお願いします。 —

こんにちは…

姉妹都市 —ダーラム市—

いらっしやい…



▲シルビア・カーコフ市長と
◀授業に参加する生徒たち

ダーラム市親善交流

団長 山岸 健一（東部中学校校長）

第1回富山市中学生ダーラム市親善交流訪問派遣団として10月23日から11月3日の間、ダーラム市を訪問しました。

団員生徒たちは、学校では当校の生徒たちと全く同じ学校生活を体験しました。言葉や授業形態の違いにもかかわらず、積極的かつ真剣に授業に参加していました。登校第1日目の放課後に、もう部活動に参加していました。

ホームステイではまさに家族の一員として家庭生活を送っていました。

フェアウェルパーティでは、あちこちでホストファミリーと抱き合っ泣きながら別れを惜しんでいる姿が見られました。

ダーラム市民の皆さん、ありがとう。



「花」と「書」で親善交流

上野北日本新聞社社長を団長とする県華道連合会と北陸書道院の富山市・ダーラム市文化交流親善訪問団一行は11月30日から12月8日まで、ダーラム市で交流交歓しました。

生け花や書道のパフォーマンス、そして、ホームビジット等を通して親善を深めました。

ダーラム市より副市長ら来富

ロビンソン副市長を団長とした一行4名は11月11日から一週間市内施設の視察、研修をして、ホームステイ等で交流を深めました。



▲富山市表敬訪問



▲ホストファミリー松本弘行さん宅

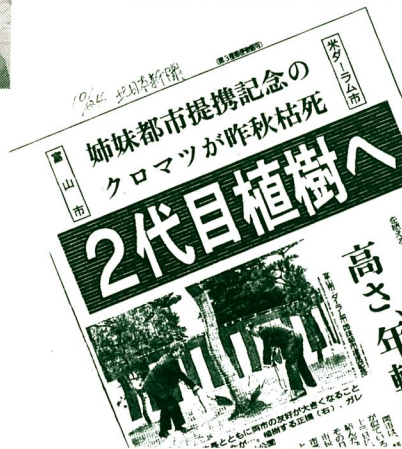
一年前の
ダーラム市
訪問の思い出
話はず…ホスト
ファミリー
に乾杯!!

ダーラム市訪問
記念に贈った日本
桜の話題に花を咲
かせて…



▲ホストファミリー高見隆夫さん宅

姉妹都市提携記念樹が……今!!



▲2代目・クロマツ前にて



10月は国際交流月間です



スウェーデンの交流交歓会で



9月9日～10日 平村和紙工芸研究館

『富山市女性、青年の翼 交流交歓会で書のパフォーマンス』

10月7日～18日までイギリス、ドイツ、スウェーデンの三カ国を訪問し、国際的な視野を広めるとともに交流、交歓を通じて相互理解と友好を深めてきました。

『第7回国際英語弁論大会inTOYAMA』

“英語で考え、英語で話す”をキャッチフレーズで開催。富山県知事賞に橋本千春さんの“Mercy Killing: A Question of Life or Dignity”が選ばれました。またバングラデシュのモニールさんは「日本の若い人達は、自国の文化や言葉を大切にすべきだ。また日本はどの国に対してもおごることも、へつらうこともなくオープンであってほしい」と発表した。



10月1日 県民会館
“Some Views on the Japanese People”を発表して北日本新聞社賞に選ばれたモニールさん



9月16日～17日 高岡市民体育館

『綱引で熱戦』

「第7回全国勤労者綱引大会」に併せて行われた県内在住の外国人による綱引交流会に、当協会の日本語教室で学ぶ仲間たちも参加しました。また9月24日の立山観光も楽しみ、相互交流をしました。

『五箇山で国際交流の集い』

今年で9回目の集いに中国・ネパール・ブラジル・アルゼンチン・アメリカなど16カ国から留学生48人と県民ら92人が参加し、和帳綴じ体験や野外バーベキュー、キャンプファイヤーなどの共有体験を通じて友情の輪を広げ国際交流を深めました。



▲11月26日 富山市民プラザ

『第16回 外国人による日本語 弁論大会』

「私の見た日本」を発表してロシア出身のシトニコヴァ・ヴェロニカさんが最優秀賞に選ばれました。



12月16日 絵曲輪通りにて

♪き～よし この夜

かわいい天使たちの合唱をバックにしてそして「国際協力によりしくお願いしま～す…。街行く人たちにかわいい天使たちの一生懸命の呼びかけ。今年も「いっしょに生きてゆきたい(YMCA国際協力募金)」の国際チャリティクリスマス愛の灯をともしました。

お知らせひろば

'96 春節交歓会

中国の人たちの手作り餃子で国際交流を…

と き 2月18日(日) 18:00～

と ころ 富山県職員会館(富山市桜町1番2号)
富山中央郵便局うしろ

会 費 3,000円(市内在住の外国の人は無料)

申し込み 当協会事務局まで

※ハガキに住所・氏名・電話番号を記入の上お申込み下さい。

定員50名に達し次第締切らせていただきます。

パネル展

ジャイカ(青年海外協力隊)では、活動を理解していただくことと、広くPRすることを目的にパネル展を開催します。

と き 2月1日(木)～2月15日(木)

と ころ 当センター展示場

問い合わせ 当協会事務局まで

「地球市民のためのワークショップ」参加者募集

「地球市民のためのワークショップ」

と き 2月4日(日) 10:00～16:00

と ころ ボルファートとやま

参加費 2,000円

「開発教育地域セミナー」

と き 2月17日(土) 14:00～ 18日(日) 17:00

と ころ 富山県職員会館

参加費 無料。ただし宿泊費(1泊2食)として7,000円必要です。

主 催 開発教育地域とやまセミナー実行委員会

問合・申込先 実行委員会事務局 ☎0764-34-0985

国内研修

市民ボランティアで組織され、自らの創意工夫で活動を進めている浦安市の国際交流を学ぼう

テ ー マ 市民の参画による国際交流活動の推進

講 師 辻村聖子先生

浦安市総合政策推進室国際交流課長

と き 2月10日(土) 14:00～16:00

と ころ 富山市国際交流センター

視聴覚室 6階

家庭で眠っている衣類をブラジルへ送りませんか！

一昨年はみなさんからたくさんのご協力をいただき、10万点の衣類をブラジルのモジ・ダス・クルーゼス市へ贈りました。モジ市の大喜びの様子を「T C A - N E W S」でもお知らせしました。

今回は、

☆2月中旬頃に船便で送ります。

☆1月10日から20日まで、当協会事務局で受け付けいたします。

☆衣類については

- ・夏物、合物(冬物は活用されません)、サイズ、子供・大人・女性・男性用は問いません。
- ・古い物は洗濯してあるものでお願いします。
- ・次のものはご遠慮下さい。

(学生服、喪服、和服、浴衣、下着、靴下、靴類、そして冬物)

「TCA-NEWS-」に関するアンケート調査

「TCA-NEWS-」に関するアンケート調査にたくさんのご協力をありがとうございました。これからの広報誌づくりは、みなさんからのご意見を参考に検討しながら進めてまいりたいと思っております。

次号には、アンケート調査の集計報告等を掲載させていただきます。

編集後記

※あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

・富山市民国際交流協会が設立されてから、もう満3年になります。(平成5年1月13日設立)

富山市民国際交流協会はボランティアによって組織され、運営・活動されております。

今年も多くの方々の積極的な参画参加で協会の一層の発展を期待したいものです。

※シンポジウムに出席しました。基調講演の講師はあのダーラム市の少年野球大会でアメリカ国家を歌い、多くのボランティア貢献をなさったことで知られる、渡辺一雄先生でした。富山市とダーラム市の姉妹都市提携のお仲人でもあります。「フィラノスロビー “報酬は感動” である」と熱く講演されました。

※では、今年も「TCA-NEWS-」発行にご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。 広報委員長 岡田昌代